

〇〇施設防災訓練実施計画

1 目的

地震発生及び火災発生を想定し、消防署等への通報及び利用者の避難誘導、避難所の設営等の訓練を実施することにより、利用者の生命・財産の安全確保を図るとともに施設職員及び利用者の防火意識の高揚を図るものである。また、地域住民に対しても施設の防火についての理解と協力を求めるものである。

2 訓練実施日

〇〇年11月1日 午前9時00分頃から
午前9時30分 地震発生及び出火

3 訓練の監督

訓練総括者 施設長 〇〇 〇〇
訓練責任者 防火管理者 〇〇 〇〇

4 関係機関等の協力・立会い

〇〇消防署、〇〇自衛消防団、〇〇福祉事務所、〇〇市町、〇〇健康福祉センター

5 訓練のねらい

- (1) 地震発生直後の施設内人員の安否確認と人命救助
- (2) 施設の屋内外点検及び出火防止対策
- (3) 火災発生の確認と的確な通報
- (4) 消防設備の操作の習得及び初期消火
- (5) 安全かつ短時間に避難する方法及び安全な避難場所の確保
- (6) 施設利用者の一時的な(屋外)避難スペースの設営
- (7) 他施設・避難所への移送、他施設・避難所からの受入
- (8) 福祉避難所の開設（福祉避難所として指定されている施設の場合のみ）

6 訓練実施項目（＊ 各項目毎、具体的に記入する。）

- (1) 人的・物的被害把握
 - ア 地震発生直後の施設内人員の安否確認と人命救助
 - イ 施設の屋内外点検及び出火防止対策
- (2) 情報伝達訓練
 - ア 火災発生の確認
 - イ 消防署への通報（消防署の事前了解の下、実際に通報すること。）
 - ウ 職員等への連絡及び出動
 - エ 施設周辺住民への火災発生伝達・救援要請
- (3) 消防設備の操作及び消火訓練
 - ア 警報設備、消火設備の点検整備
 - イ 消火バケツ、消火器等による初期消火
 - ウ 防火戸、シャッター等の閉鎖
 - エ 排煙口の開放
 - オ 非常電源の作動確認
 - カ 放水（施設内消火栓）による消火
- (4) 避難誘導訓練
 - ア 自力避難困難者の避難及び誘導
 - イ 入所者等の安全指導

- (5) 施設利用者の一時的な(屋外)避難スペースの設営訓練
- (6) 他施設・避難所への移送、他施設・避難所からの受入
- (7) 福祉避難所の開設（福祉避難所として指定されている施設の場合のみ）
- (8) 煙対応訓練
 - ア 煙への対応（職員に限る。）
- (9) 応急対策訓練
 - ア 傷病者に対する応急手当

7 実施方法

- (1) 職員等の役割及び行動
別紙実施要領のとおり
- (2) 避難経路及び避難場所
別図のとおり（朱線で記入）

8 その他

- (1) 訓練の実施に当たっては、事故等のないよう最大限配慮する。また、万一に備え、嘱託医等の協力を求める。
- (2) 訓練参加者は、沈着、冷静に行動するとともに真剣に訓練を行う。

訓練時間割		
9:00	(準備)	
9:30	訓練開始	(1) 人的・物的被害の把握 (2) 情報伝達訓練 (3) 消防設備の操作及び消火訓練 (4) 避難誘導訓練 (5) 施設利用者の一時的な(屋外)避難スペース設営訓練 (6) 他施設・避難所への移送、他施設・避難所からの受入 (7) 福祉避難所の開設（福祉避難所として指定されている施設の場合のみ） (8) 煙対応訓練 (9) 応急対策訓練
11:30	訓練終了	反省及び講評(消防署) 他、施設からの意見、相談
11:30	講評・質疑	
12:00	終了	

※ 訓練項目は、施設の状況により前後することもあります。